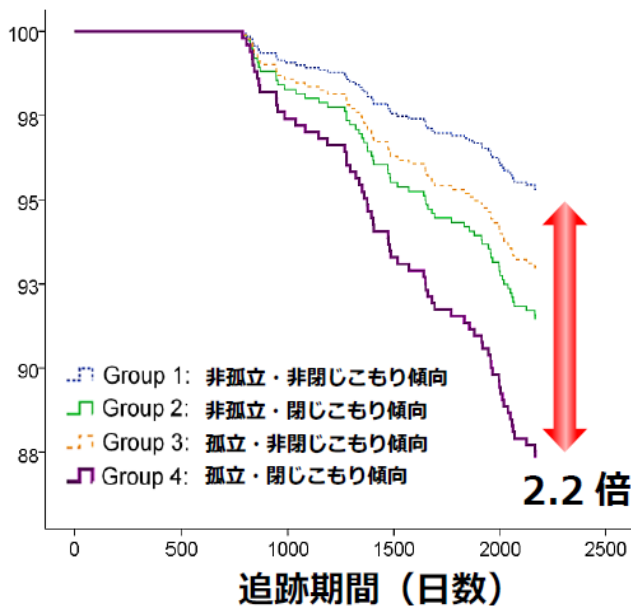


いつまでも、住み慣れたお家からお出かけできるように応援します

私たちの活動理念の第1番目は『自分らしく住み慣れた家で、いつまでも暮らし、外出できるように応援します』です。私たちは、リハビリテーションを通じて、ご利用者さまがいつまでも地域社会とつながり、豊かな暮らしが送れるように、お手伝いをすることを目指しています。私たちは、高齢者が豊かに暮らすためには、『他人と交流すること（社会交流）』と『外出』することが重要であると創業当初より考えております。その想いは、弊社ロゴに象徴されています。今回は、私たちの考えを支持する調査をご紹介します。



生存者割合 (%)



●健康な高齢者でも、社会的に孤立し、外出回数が1日1回未満になると、死亡リスクが高まる。

交通機関の使用や買い物など日常生活に問題のない健康な65歳以上の高齢者(1023名)を、同居家族以外とのコミュニケーション(直接または電話やメールなども含めて)頻度が週1回未満の方を「社会的孤立」、外出が1日1回未満を「閉じこもり傾向」と定義し、社会的孤立および閉じこもり傾向の有無の組み合わせで4群に分け、死亡率の違いを6年間追跡調査しました。

社会的孤立と閉じこもり傾向の両方に該当しない高齢者に比べて、両方が重なる高齢者では6年後の

死亡率が2.2倍となり、顕著に高くなることが分かりました。

●私たちは、リハビリテーションを通じて、新しい可能性の扉を開きます。

毎日お出かけし、社会的な交流を維持することが、高齢者が豊かに暮らす秘訣です。私たちスイッチオンサービスは、ご利用者さまがいつまでも住み慣れたお家からお出かけできるよう、介護職・看護師・ケアマネジャー・リハビリ専門職など各専門職の力を合わせてリハビリテーションを実践し、**ご利用者さまの新しい可能性の扉を開きます。**

参考文献: Ryota Sakurai et al. Co-existence of social isolation and homebound status increase the risk of all-cause mortality International Psychogeriatrics (2019) 31:5 703-711

